

ひまわり

平成16年7月創刊

vol.32

平成24年5月1日発行

地域医療支援病院

宮崎江南病院

病院長 石川 正

宮崎市大坪西1-2-1

TEL.0985-51-7575

FAX.0985-53-8821

地域医療連携室
だより

若葉の色が美しい季節となりました。先生方におかれましては益々
ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当院は、2009年から工事が始まり、昨年からは病院本館部分である
病棟の耐震補強・増改築工事の真最中です。今年2月に外来新棟2階
にある透析室と同じフロアに腎疾患・透析の内科病棟である2階東病
棟と旧透析室跡に回復期リハビリテーション病棟である3階西病棟が
完成しました。現在3階4階5階病棟の西側半分が工事中で、患者、
家族の皆様大変窮屈な思いをさせています。しかしながら、5月中
には病棟の大部分が竣工予定であり、今しばらくご迷惑をおかけする
こととなりますが何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

これからも地域医療に貢献する医療機関として、これまで同様職員
一同努力して参りますので今後ともご指導、ご支援をよろしくお願
いいたします。

平成24年5月吉日

看護局長 土居 早苗



院内紹介

今回は、**訪問看護ステーション**です。



宮崎江南訪問看護ステーションは平成11年に開設し、13年目を迎えました。開設時は看護師3名で始まった訪問看護も今では看護師13名（2チームで24時間体制）、PT2名、事務職1名で県内でも最も大規模な訪問看護ステーションへと成長しました。高齢化に伴う制度の変化や「家で自分らしく生活したい」と在宅療養を希望される患者さんが増えてきたことが訪問看護をより一層なくてはならないものにしてきていると感じます。訪問看護の指示はありがたいことに地域の先生方からも現在は26の病院からの指示をいただき、田野や青島などまで訪問看護に回っております。

宮崎江南訪問看護ステーションの特徴としては、すべての訪問看護師が看護師経験年数10年以上で、それぞれの得意分野を活かしケアを行っていることです。特に「褥瘡のケア」に関しては褥瘡対策委員が中心となって軟膏の種類や被覆剤などを看護師が判断し、デジカメで撮った写真を形成外科で見ってもらうなど医師にも助言をもらいながらスキントラブルの改善を目指しています。またPT

にポジショニングや福祉用具の調整を行ってもらい、褥瘡予防にも努めています。他にも病院の緩和ケア、がん治療支援、NST、退院調整などの委員会やチームに参加して幅広い知識の中から利用者にとって適切なケアができるようにスタッフ一同心がけています。

訪問リハビリも今年度から専従PT2名と病院兼務のPT、OTが増え、体制を充実させて利用者のニーズに応えています。これからは、地域の先生方とケアマネージャー、薬剤師や栄養士、たくさんの職種が連携することが地域医療の大きな力となって在宅療養を支えていけると信じています。訪問看護がその中で十分に役割を發揮できるよう頑張りますので今後ともよろしくお願ひします。



地域医療を 支える

月見が丘クリニック

院長 三嶋 修

〒880-0926 宮崎市月見ヶ丘2丁目5-1
TEL.0985-63-1500
FAX.0985-63-1505

宮崎市月見ヶ丘で開業して約11年、現在地に移転してからちょうど1年になりました。私は昭和55年に山形大学医学部を卒業し、東北大学の形成外科の医局に入局しました。

医局に所属していたときは、東北公済病院などに勤務し、切断指の再接着を中心に手術ばかりの日々を送っていたこともあります。縁あって宮崎県に来て約20年、形成外科のみならず、内科・外科の診療も長く行ってきました。開業してからは、地域のプライマリーケアを中心に診療を行っています。

現在の当クリニックの患者さんは、高血圧や糖尿病を主とした内科療法と、骨粗鬆症や関節の変型性変化など痛みを伴う整形的疾患の患者さんが多く、地域全体の高齢化とともに診療内容も少しずつ変化してきています。

私は、普段から患者さんとともに病気に対してうまくつきあっていくということを重点に診療を行っています。どんな患者さんでも理解しやすい説明を心がけています。これからも、密着した地域医療の発展のために、健康相談や往診を行い、地域の皆様のお役に立てるように誠心誠意努力していく所存でございます。

江南病院は、私の専門域では宮崎県では唯

一入院をお願いできる存在であるということは言うまでもなく、整形外科、内科領域などで入院治療やより高度の診断、治療方針等を教えていた



だけの不可欠な存在となっています。また、最近糖尿病に関しての宮崎大学、江南病院が中心となった臨床研究に参加させていただき、少しばかりではありますが研究のお手伝いもさせていただき、更には私自身の診療レベルの向上にも役立つものとなり、非常に感謝しております。これからも、江南病院には、何年も共に手術が必要となる患者さんから、外傷、症状の急変等で至急入院が必要な患者さんまでお世話になると思います。地域の病院、クリニックの先生方とともに地域医療の一部を微力ながらも支えられる存在となれるよう努力を続けていきたいと思っております。これからも診療レベルの向上のための研鑽は怠らないようにしたいと考えております。

どうかご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

症例検討会へどうぞ

実施状況

3月 (3月8日実施)

- 腎生検の適応について及び昨年腎生検を行った5症例の報告 (内科)
- 2011年肺・乳腺症例について (外科) ■ NST委員会紹介 (NST委員会)
- 本年度に経験したちょっとめずらしい? 下部内視鏡症例 (放射線科)

4月 (4月12日実施)

- 2011年前期胃手術症例について (外科) ■ 肩関節後方脱臼の1例 (整形外科)
- 緩和医療チームの活動について (緩和医療チーム委員会)
- 低心機能・心不全に対する心臓リハビリテーションと当院の現状について (内科)

今後の予定

- 2012年5月12日(土)
特別講演会
JR九州ホテル宮崎
KITEN 8階
- 2012年6月14日(木)

診療科	診療	曜日	月	火	水	木	金	
内科	第一新患	8:30~10:00	渡邊 玲子	早稲田 文子	高木 信雄	松尾 剛志	平山 直輝	
	第二新患	10:00~12:00	田中 千尋	和田 美佐	日高 梓	河野 清香	戸倉 健	
	第三新患	9:30~11:00					津守 容子	
	(新患応援・相談)		(松尾 剛志)	(田中 千尋)	(松尾 剛志)	(和田 美佐)	(日高 梓)	
	(腎・透析新患相談)		(山田 和弘)	(山田 和弘)	(山田 和弘)	(山田 和弘)	(戸倉 健)	
	再診			平山 直輝	松尾 剛志	石川 正	石川 正	松尾 剛志
				高木 信雄	平山 直輝	松尾 剛志	戸倉 健	渡邊 玲子
				河野 清香	山田 和弘	戸倉 健	渡邊 玲子	田中 千尋
				日高 梓	長友 英里香	渡邊 玲子	早稲田 文子	和田 美佐
				和田 美佐		北村 和雄		
特殊再来(午後)				高木 信雄	高木 信雄 戸倉(PD外来)			
外科	初診・再診		白尾 一定	秦 洋一	白尾 一定	立野 太郎	秦 洋一	
			秦 洋一		大久保 啓史			
	乳腺・甲状腺外来(午前)						白尾 一定	
	ストーマ外来(午後)		秦 洋一 (第1月曜)					
NST外来(午後)				白尾 一定 (第3水曜は除く)				
形成外科	初診・再診		大安 剛裕	津田 雅由	大安 剛裕	津田 雅由	大安 剛裕	
			弓削 俊彦	梅田 基子	梅田 基子	弓削 俊彦	津田 雅由	
整形外科	1診		松元 征徳	益山 松三	松元 征徳	松元 征徳	益山 松三	
	2診		坂田 勝美	長澤 誠	長澤 誠	益山 松三	坂田 勝美	
放射線科	CT/MRI/RI		杜若 陽祐・結城 康弘・宮田 裕子・伊藤 泰教					
	血管造影		結城 康弘					
	内視鏡		伊藤 泰教					

プライマリーケア(午後)	早稲田 文子	渡邊 玲子	和田 美佐	田中 千尋	日高 梓
	(和田 美佐)	(日高 梓)	(早稲田 文子)	(渡邊 玲子)	(田中 千尋)

*都合により変更になる場合があります

受付時間 8:30~11:00

(但し、急患・紹介患者はこの限りではありません)

編集後記

次第に暖かな春の陽気が感じられるようになってきました。

今回の写真は青島の亜熱帯植物園で撮影したチューリップ祭りです。このひまわりの表紙を撮るようになってから写真や花に興味が出てきました。ただ、毎回一人で写真を撮りに行くのも寂しいものです。春は出会いの季節でもあるので頑張ります!!そして、夏の表紙を撮る時にはきっと、きっと……。皆様により報告が出来ればと思っております。

年度が替わり、当院の医師にも異動がありました。外来担当医一覧表も更新しておりますのでご覧ください。

E-mail:renk203@mist.ocn.ne.jp 地域医療連携室 相良 佳希

ご意見・お問い合わせ

宮崎江南病院 地域医療連携室

TEL.0120-855-082 FAX.0120-855-083

地域医療連携室長:白尾 一定
専任担当:佐藤 貴代・相良 佳希